

# 支援活動の輪が広がる 鹿児島は教区挙げバザーや街頭募金



各地で被災者への支として50万円を届けた。援活動が相次いでいまた、仏婦代表らによる。このうち、鹿児島「被災地にダーナの教区（富永眞秀教務所心をすぐに届けたい）」は3月14日、東北との提案を機に、「私教区現地緊急災害対策」に今できること本部に第1次見舞金とを」と、教区全体で支

援活動に取り組んでいる。彼岸会中には大震災支援バザーを鹿児島別院で行った。教区内寺院や門徒などから日用品が提供され、仏婦会員が中心に販売。仏婦

活動の様子）  
（2面に各地の支援

行われたほか、4月19日にも行う予定。また、ボーイ・ガールスカウトも別院境内や別院近くの百貨店前で街頭募金を行い（写真）、43万円が寄せられた。

婦会員たちは「売上げは全額、震災の義援金として届けさせていただきます」と呼びかけ、100万円の売り上げがあったという。

3月17日には街頭募金活動を実施。富永教務所長をはじめ職員、仏婦、仏壮会員など70人が別院近くの繁華街で募金を呼びかけ、24万円近くが寄せられた。街頭募金は25日も

さらに、4月11日から13日の春季総永代経法要を被災者追悼法要と併修、バザーも行う。また別院近くの広場で、雅楽とコーラスのチャリティーコンサートも企画している。富永教務所長は「中・長期にわたる支援となるよう活動していきたい」と語った。